

文字 マーク	視覚	聴覚	手・腕	歩行	車椅子 利用	多機能 トイレ	複雑な 表現	人混み ・順番	その他
意味	・視覚が不自由で支援が必要	・聴覚が不自由で支援が必要	・手や腕の動きが不自由で支援が必要	・歩行が不自由で支援が必要	・車椅子利用への配慮が必要	・多機能トイレの利用への配慮が必要	・複雑な表現が苦手な配慮が必要	・人混みや順番を待つことが苦手な配慮が必要	・その他の配慮が必要
配慮・手 助けの例	・対応する従業員から声をかける。	・筆談、手話など、可能な限り、障害者本人の希望に沿ったコミュニケーション手段を用いる。	・本人からの依頼がある場合には、代筆を行う。	・立った状態で対応するのではなく、着席できる場所に案内のうえ、着席して対応する。	・段差がある場合、キャスター上げ等の補助をする。携帯スロープを渡すなどをする。	・このマークを示した方の意向に沿って、オストメイト対応トイレなどの設備を有する多目的トイレを案内する。	・できるだけわかりやすい言葉、短い言葉を使って対応する。	・本人から依頼がある場合には、周囲の方の理解を得たうえで、順番の優先を行う。	・体温調整に障害がある場合、事務室や相談室の温度管理に配慮する。